

「ものづくりを通して人をつくる」

沖縄県立那覇工業高等学校定時制課程は、昭43年琉球府立産業技術学校夜間部課程として第1期生を迎えた後、昭和7年に沖縄県立那覇工業高等学校となり、今年度で創立60目を迎えます。浦添市の南端、安謝川沿いに位置し、学校の周辺は工業系企業や「国立劇場おきなわ」があり、産業と文化の共存する活力ある教育環境となっております。設置学科は、「機械科」「電気科」の2学科があり、専門高校の特色を生かして、各種資格・検定指導に力を入れています。

本校定時制では、第二級陸上特殊無線技士、第二級海上特殊無線技士について学校設定科目として授業を開設し免許を取得することが可能となっております。他にもアーク溶接、ガス溶接、危険物取扱、電気工事士、計算技術検定、文書デザイン検定、ボイラー取扱技能講習等多くの国家資格や技能検定、講習等に取り組んでおります。また、アルバイト等の実務代替制度により90日以上就労で1単位、180日以上で2単位の増加単位を条件付きで認めております。学業と就労の両立は、精神的にも肉体的にも厳しいものがありますが、約半数の生徒が学業と就労を両立させながら人格形成と単位取得に励んでおります。

卒業生の進路決定先として内就職先では、機電関係、電気工事関係、ビルメンテナンス関係、造船関係、自動車関係、物量関係、福祉関係など、県外就職先も東京都、大阪府、愛知県などで電気工事関係、金属加工関係、空調工事関係、建設工事関係、物流関係、小売業、福祉関係など、工業系を中心に多様な業種の事業所様から採用を頂いております。進学においても、県内外の私立大学、職業能力開発校、専修各種学校などへ進学する生徒もおります。

私達、教職員一同、「自主」「勤労」「敬愛」の校訓のもと、働きながら学業に励む定時制の生徒たちを応援し、社会人としての教養とマナー、各専門分野の知識と技能を身に付け、頑張っている生徒の夢実現のため、全力で取り組んで参ります。

どうぞ、本校の教育活動についてご理解を頂き、保護者、地域、関係機関の皆さま方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和8年4月

沖縄県立那覇工業高等学校
校長 宮國 和也